

## 調査結果一覧

### ○水生生物モニタリング調査結果一覧（いわき市沖M）

#### <いわき市沖M 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
M-2	○	○	○	○	○	○

#### <いわき市沖M 水質採取項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	R7.9.2	08:38	08:55	24.5	19.2	砂	5Y4/2	貝殻	42.0	14.0
M-2 (下層)				08:10		18.9						

#### <いわき市沖M 底質採取項目>

#### <いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	R7.9.2	08:38	8.1	0.6	2.0	7.4	4730	33.72	1.3	3	0.7	N.D. (0.0015)	0.0016	—
M-2 (下層)				08:10	8.0	<0.5	1.5	7.6	4790	33.87	1.1	1	0.7	N.D. (0.0014)	0.0020	0.00096

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

#### <いわき市沖M 水質採取項目>

#### <いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
M-2	37.1996°	141.0853°	R7.9.2	08:55	7.7	471	24.8	2.1	1.4	2.800	0.0	0.5	3.1	88.2	5.5	2.7	0.14	4.8	0.42	33	N.D. (0.16)

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

#### <いわき市沖M 底質採取項目>

#### <いわき市沖M 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
M-1 M-2 M-3	久之浜沖	37.1736° 37.1996° 37.2324°	141.0788° 141.0853° 141.0935°	R7.9.2	軟体動物	頭足	十腕形	コウイ	<i>Sepia andreana</i>	エゾハリイカ	13	0.48	未成体/成体	—	—	N.D.	N.D. (0.28)	N.D. (0.28)	—
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	ホボウ	<i>Chelidonichthys spinosus</i>	ホウボウ	5	1.1	未成魚/成魚	カ類、エビ類	内臓除去	N.D.	N.D. (0.54)	N.D. (0.33)	—
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	ヒラメ	<i>Pseudorhombus cinnamoneus</i>	ガンゾウビラメ	5	1.5	成魚	甲殻類	内臓除去	N.D.	N.D. (0.27)	N.D. (0.25)	0.020
					脊椎動物	硬骨魚	ススキ	タイ	<i>Eynnys japonica</i>	チダイ	7	2.0	未成魚	甲殻類	内臓除去	0.49	N.D. (0.38)	0.49	0.021
					脊椎動物	硬骨魚	フグ	フグ	<i>Takifugu snyderi</i>	シヨウサイフグ	5	0.94	未成魚	カ類	内臓除去	N.D.	N.D. (0.31)	N.D. (0.38)	—
					脊椎動物	硬骨魚	マトウガイ	マトウガイ	<i>Zeus faber</i>	マトウガイ	3	0.66	未成魚	魚類	内臓除去	N.D.	N.D. (0.35)	N.D. (0.36)	—
					脊椎動物	軟骨魚	ジロザメ	トザメ	<i>Mustelus manazo</i>	ホシザメ	2	1.5	未成魚	空胃	内臓除去	0.25	N.D. (0.28)	0.25	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。